

評価対象年度	平成 15 年度	<b>事務事業評価表</b>		作成日 平成 年 月 日 作成点検日 平成 年 月 日		
事務事業名	誕生の祝い配布事業		事務事業コード			
担当部課係等	総務部市民課市民係		<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画対象事業			
総合計画体系	2	3	1	0:2		
予算科目	会計	款	項	目 事業		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 50 年度 ~ )			
事業概要			全体計画 (単位:千円)			
<p>昭和50年から真岡市で生まれた赤ちゃんへの、市からのお祝いの記念品として、出生届時に親に贈呈している。</p> <p>この冊子には、赤ちゃんの足型などの誕生からの記録ができ、また、子育ての方法の指針となる、「子供の躰25条」「児童憲章」などが掲載されている。</p> <p>本市においては、青少年健全育成事業及び三つ子の魂育成事業を、重要政策課題としており、広くは、赤ちゃんの健やかな成長を促し、心身ともに健全な青少年に育て、非行や暴力のない、明るい平和な地域社会の構築を図る。</p> <p>冊子の規格 B5版 11ページ ビニール厚表紙</p>			投入量	事業費	国庫支出金	
				事業費	県支出金	
				事業費	地方債	
				事業費	その他	
				事業費	一般財源	
				事業費	事業費計 (A)	0
人件費	正規職員					
	正規職員以外					
	人件費計 (B)	0				
			トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果

① 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)

15年度実績

出生受付時に、赤ちゃん誕生のお祝いとして、『誕生の祝い』という冊子を配布する。

16年度計画

15年度と同様

② 対象(誰、何を対象にしているのか) \* 人や自然資源等

生まれた赤ちゃんとその親

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

赤ちゃんの誕生をお祝いすると共に、記録を残すきっかけをつくることで、親子の絆を確認してもらえるようにする。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

三つ子の魂を育て、①子供の健やかな成長を促し、②心身共に健全で非行や暴力のない青少年を育てる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

⇒ 配布部数

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

⇒ 出生者数

⑦ 成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない

⇒ 活用している親の数/出生届出者数

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

⇒ 健やかに子供が育っていると答えた親の数

(2) 総事業費・指標等の推移

(単位:千円)

		12年度 (実績)	13年度 (実績)	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (見込)	17年度 (目標・計画)	18年度 (目標・計画)
投入量	事業費							
	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	499	499	499	499	499		
	事業費計 (A)	499	499	499	499	499	0	0
人件費	正規職員							
	正規職員以外	46	44	43	45			
	人件費計 (B)	46	44	43	45	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		545	543	542	544	499	0	0
活動指標	出生者数	688	653	640	679	650		
対象指標	出生者数	688	653	640	679	650		
成果指標	出生者数	688	653	640	650	650		
上位成果指標								

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？

昭和50年7月から、全国他市に先がけて、真岡市に生まれた赤ちゃんの誕生を祝い、市長からのメッセージを直接、誕生証書という形で、手渡したのが始まり。全国に先がけて、スタートした制度で、当時、行政誌にも取り上げられ、問い合わせが相当数あった。現在、県内ではほとんどの市が同様の事業を実施している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか？

- ・全国、同様のものを配布しているところが多い。
- ・事業の見直しで廃止しているところもある。
- ・絵本など、他の祝品を検討しているところもある。

③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？

- ・誕生時の記念として、利用しており、時々見て楽しんでいる。(窓口での聞き取りによる)
- ・現在のものはあまり利用していない。( 同上 )

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？  意図することが上位施策に結びついていますか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく ⇒【理由】⇒ ・青少年健全育成 ・三つ子の魂育成事業 児童虐待や育児放棄など、乳幼児をめぐる社会問題が大きくなってきている中で、共に健やかな子供の成長を願う家庭教育、特に幼児教育につながる。
	② 公共関与の妥当性  なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的ですか？	<input type="checkbox"/> 手が引ける ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない ⇒【理由】⇒ ・三つ子の魂育成事業と青少年健全育成事業は、市の重点事業であり、妥当である。
	③ 対象・意図の拡大又は縮小余地  事業の対象・意図は適切か？拡大・縮小の余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ ・青少年健全育成事業、三つ子の魂育成事業、健康増進事業との連携により、現在配布している
有効性 評価	④ 成果の向上余地  成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある ⇒【原因】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input type="checkbox"/> 余地がない ⇒【理由】⇒ ・青少年健全育成事業、三つ子の魂育成事業、健康増進事業との連携により、現在配布している冊子を広く利用されやすいスタイルに改善。たとえば必ず必要となる母子手帳に差し込めるような工夫で冊子を広く利用される形に改善する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【具体的な影響】⇒【問題解決策】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ ・出生時が一番子供に対する母性愛があり、この時期に配布することが、一番タイムリーである。このような冊子がないと、出生時の記録はなされにくい。ただし記録がされずにしまわれてしまうこともある。
	⑥ 類似事業との統廃合余地  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ⇒【理由】 ・出生時以降、常時携帯されて活用されること多い母子手帳と一緒に携帯される形式にして統合することで、経費の削減とできるだけ見てもらえるような効果も上がると考える。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地  成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【具体的な影響】⇒【問題解決策】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ ・現在のもの以上のものを整備できない。 ・廃止するか、まったく別なものを検討するか ・母子手帳サイズと一緒に携帯できる小冊子への変更により経費の縮減ができる。また、記念品の意味合いとしては、母子手帳と一緒に持ち歩けるケースカバーなどの検討も有効であると考ええる。
	⑧ 人件費の削減余地  成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 ⇒【理由】⇒ ・出生届時に簡単な説明をして手渡している程度なので、現状でも無駄がない。
公平性 評価	⑨ 受益者負担の適正余地  受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 公平・公正な負担率ではない。⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正な負担率である。⇒【理由】⇒ ・現在市民であれば、だれでも何人目でも出生届時に配布している。

3 改革・改善方向の部

(1)改革の方向性(改革案・実行計画)

廃止  見直し(目的妥当性  効率性  有効性  公平性)  統合  継続

○三つ子の魂育成事業(幼児期)と青少年健全育成事業(青少年)と健康増進事業(健康面)との連携により総合的に予算の削減と事業の拡充とスリム化を図ることも検討できる。

(3)改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			×
	低下		×	×

(2)改革, 改善を実現する上で克服すべき課題は何ですか?それをどう克服していきますか?

三つ子の魂育成事業担当課と青少年健全育成事業担当課及び健康増進課等の有機的結合を図り、一貫した流れをつくる。

4 事務事業の2次評価結果

(1)1次評価結果の客観性と出来具合

記述説明不足(説明責任不十分)  評価内容が客観性を欠く  評価内容は客観的と言える

(2)2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性  適切  見直し余地あり
- ② 有効性  適切  見直し余地あり
- ③ 効率性  適切  見直し余地あり
- ④ 公平性  適切  見直し余地あり

(3)評価結果に至る経緯や申し送り事項

・母子手帳に記録が残っている。

(4)2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止  休止  目的絞込み  目的拡充  事業統廃合  事業のやり方改善  
 予算削減  予算増大  現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5)その他2次評価会議で指摘された事項

- ・一時期にこの事業をやめようかと議論したこともあったが継続してきた。冊子の中には三つ子の魂についての記述がされている。
- ・実際に利用者の声を聞いてそれを改善に反映する。利用のための工夫をどうするか。
- ・子育て支援センターの協力も得る。
- ・配布を受けた人の利用度合いや要望などを聞く。

(6)改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

5 最終意思決定結果

(1)改革の方向性(改革案・実行計画)

廃止  休止  目的絞込み  目的拡充  事業統廃合  事業のやり方改善  
 予算削減  予算増大  現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2)改革, 改善を実現する上で克服すべき課題は何ですか?それをどう克服していきますか?